

古事記講読(10月1日)序

日本と中国の文化交流の歴史的概観
日本に対する中国の歴史的視線

1. 紀元前IC 史記

- 秦・始皇帝 AC221. 中国大陸を統一する
- 不老不死の妙薬を求めて徐福を東の海にある三神山に遣わす
「三神山」→蓬萊・方丈・州(日本)の三山→仙人が住む
- 日本には徐福伝説の地が多数ある。
徐福が始皇帝の命令で日本を目指したのは史実だろう。

2. 3世紀末「三国志・魏志倭人伝」(中国の正史)

3. 東夷・西戎・南蛮・北狄の中華民国の中華思想の中で日本に対してのみ 三神山の瀛州(海の彼方の神山)と認識していた。 164P応神天皇・4C

4. 中国は周囲の国の民族を野蛮人・野蛮国と魑魅魍魎の出没する未開の地と認識していた。

5. 7世紀 唐王朝 初期に編纂された「随書」中の「倭国伝」に(厩戸皇子)

人々の性質は素朴で正直であり、雅やかである。

○「有雅風」＝中国の最高の賛辞

○唐王朝 宰相＝魏徵

↓

「雅風あり」と絶賛している。

↓

飛鳥時代の日本

6. 古代から日本に多くの人が渡来した。

要因の源 今迄この認識が浅かった！！？

このようななかに更に文化の糧を吸収して文化圏化を醸成した。